

高齢者介護総合センター

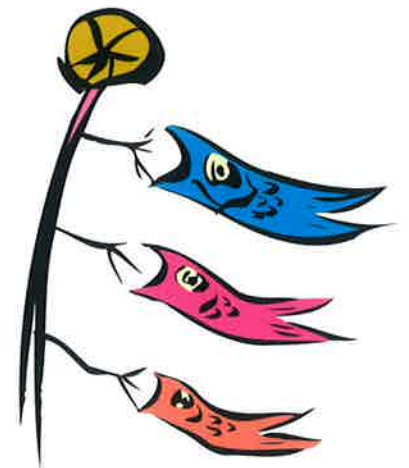
聖母の園

平成25年

6月号

平成25年6月1日発行

◆ 〒245-0063 横浜市戸塚区原宿4丁目35番3号 ◆ TEL 045-851-6053 / FAX 045-851-6212



端午の節句は、奈良時代から行われている古い行事です。

端午というのは、五月の初めの午（うま）の日という意味です。それがいつのまにか五月五日に固定されてしまいました。

昔は和紙に鯉の絵を描いたものでしたが、大正時代に破れない綿の鯉のぼりが生まれ、昭和三十年代の半ばには雨にぬれても色落のしない合成繊維の鯉のぼりが誕生し、現在に受継がれています。

エチオピアで看護に献身の Sr. 小田（当園特養の看護師）が医療功労賞を受賞

長年に渡り、献身的に活動した医療関係者を表彰する「第 41 回医療功労賞」（読売新聞社主催）の海外部門で、マリアの宣教者フランシスコ修道会会員の、当園特別養護老人ホーム勤務の看護師、小田美津江さんが選ばれました。1989 年に電気やガス、水道そして医者すらいないエチオピアのゴサ地区に派遣されました。当時、Sr. 小田の他にはインド人助産師とアメリカ人看護師の三人だけで「本当に苦労した」と話されました。頭にケガを負った意識不明の青年が診療所に運ばれてきた際は、政府の病院を勧めたが、病院がある他部族の地区には行きたがらず、「死んでも良いからここで治療して欲しい」と言われ尽力されました。青年は意識を取り戻しましたが、左半身は不随となってしまいました。青年の足をマッサージし続けリハビリ活動の結果、青年が歩けるようになって以来、Sr. 小田のマッサージは評判となりました。その後、アワサ地区の病院に移り、熱帯地域の医療活動に加わりながら足の反射療法を習得されました。2002 年に再びゴサ診療所に戻り、老若男女のあらゆる病気に足の反射療法を活用されました。Sr. 小田は「日々、患者さんの健康回復を考えて活動してきたらあつという間に 20 年以上も過ぎてしまいました。日本のように医療が進んでいる国ばかりではありません。貧しい地域で病気に苦しんでいる人々の苦痛の軽減や健康回復へのお手伝いをしていきたい」と語っています。

そんな Sr. 小田にいくつかの質問をしました。①看護師になろうと思ったきっかけは？→高校 1 年生の時、障害児施設にボランティアへ行った際、唯一関われなかった重度の子供達の部屋には看護師が必要で常駐してます、と施設の園長に言われた事です。②看護師になって良かった事は？→健康回復へのお手伝いが出来る事です。③看護師を辞めようと思った事は？→全くありません。④現地語はどのように習得したか？→公用語は英語で、2 年間の研修を要しました。現地語は小学一年生の現地語のクラスに出席し、書き方や話し方を習いました。⑤現在勤務している特養の仕事について思う事は？→コミュニケーションが取れない方達が、心の中ででもここに来て良かった、と感じて頂けるように頑張る事です。また、お話し出来ないと思っていたお年寄りに毎日声を掛けていたら、ある時はっきりと返事をされた事があり、日々のふれあいの大切さを実感しました。この感動をご家族様に伝えると共に、今後も日頃の関わりを大切にしていきたいと思っています。そんな Sr. 小田ですが、まだまだ他にも様々なエピソードをお持ちです。見かけた際は、気軽に声を掛けて楽しいお話しをお聞き頂ければと思います。

プロフィール

- 1968 年 神戸海星女子学院高等学校 卒業
- 1971 年 聖母看護短期大学 卒業
聖母病院神奈川県立こども医療センター
兵庫県立子供病院
- 1977 年 4 月～8 月
9 月 マリアの宣教者フランシスコ修道会に入会
- 1980 年 9 月 初誓約宣立
戸塚聖母の園老人ホーム(6 ヶ月)
神戸海星病院(2 年)
札幌天使病院(2 年)
奄美の園(1 年)
修道女の卵として奉職
- 1986 年 9 月 終生誓願宣立 東アフリカ管区
エチオピアへの派遣を受ける
日本と英国にて各 1 年間、英語研修を受ける
- 1989 年 7 月 エチオピアへ入国
- 2010 年 11 月 日本へ帰国
- 2012 年 4 月 戸塚聖母の園老人ホーム 医務室勤務



ボランティア総会のご報告

毎年4月にボランティア総会を行っております。日頃よりボランティア活動を行っている皆さまを労い、戸塚教会主任司祭バーク神父様による感謝のミサと聖母の園の調理職員が真心を込めた手作りのお食事を召し上がっていただきました。

総会ではボランティアの皆さまより「年に1度勉強会をしたい」とのご希望があり、過去には「介護保険制度改正について」や「防災対策について」など、その年にあった講義内容を計画して参りました。



昨年度聖母の園では、ノロウィルス感染症が猛威を振るい感染者が拡大したため、保健所の指導を受け、ボランティア活動の中止や在宅サービスの中止、外部の面会者も中止して感染対応を継続して参りました。

そこで、協力医療病院の医療生協かながわ生活協同組合 戸塚病院 副総師長 住岡智子様をお招きし「感染対策の基本」と題して在宅（一般家庭）において、感染対応をどのように行えばよいか、又、対応に対する医療現場での工夫などを盛り込み、大型スクリーンでの講義や実技を交えてご講義を頂き大変好評でした。

多くのボランティアの皆さまが、健康で毎日をお過ごしになり、気持ち良くボランティア活動を行えるよう頑張りしたいと思います。



シスター川邊 紹介



「初めまして。そしてただいま。」

黒木さんの前に用度係をしていました Sr. 川邊です。4月から聖母の園事務所に席を置くことになりました。

生まれは小田原です。子供の頃、キュリー夫人に憧れていましたが、私の思いと神様の計画は違っていたようです。

保母、研修の家、協会の手伝い等、北海道から種子島まで、道は今のところへと続き、何一つ無駄な経験はなかったと感謝しています。

聖母の園では、Sr. 中村のお仕事を主に引き継いでいますが、利用者様、職員はじめ皆様との出会いに神様の風が吹く事を願っています。 川邊和子

納涼祭開催 のお知らせ



開催日 平成25年7月27日(土)

※雨天中止

聖母の園玄関前ロータリーにて開催致します。

模擬店も多数用意致しますのでお隣近所お誘い合わせの上お越し下さい。

尚、お車でのお来園は御遠慮下さいますようご協力お願い致します。

ボランティアさん募集

① 活動内容 / 特養ご利用者のシーツ交換お手伝い

活動曜日：水曜日 午前 10：00 ～ 11：00

② 活動内容 / デイサービス 補助 2～3名

(整容・レクリエーションのお手伝い・利用者の話し相手・昼食とおやつ用の用意等)

活動曜日：月曜日・火曜日・木曜日・土曜日 午前 9：30 ～ 午後 4：30

(短時間でも可 時間はご相談に応じます)

詳しいお問い合わせは

高齢者介護総合センター 聖母の園 電話 851-6053

ボランティア担当 倉野・安齋 までお問い合わせ下さい。

～ 皆様のご協力心よりお待ちしております ～

